

米国小型株サステナブルグロース・ファンド (愛称：ダイヤの原石)

最近の運用状況について

※当資料は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントのコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

2020年4月17日

平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は足元の投資環境を受けた当ファンドの運用状況についてお知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

2020年4月15日現在

基準価額	8,757 円
純資産総額	96億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	+13.7 %
3か月間	-15.2 %
6か月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	-13.3 %
設定来	-11.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

年初来の米国株式市場の動向と当ファンドの運用状況について

米国株式市場の動向

新型コロナウイルス感染拡大による景気後退リスクから下落

米国株式市場は、好調な米国景気への期待感に支えられ、2020年初めから堅調に推移しました。しかし、2月中旬以降、新型コロナウイルスの中国以外への感染拡大により世界経済への先行き不透明感が高まると、米国株式市場は下落に転じました。特に、米国国内での感染防止に向け経済活動の制限が強まり、米国の景気後退の可能性が意識されると、投資家のリスク回避的な動きから、3月中旬以降は下落が加速しました。3月末にかけては、米国の景気対策法案の与野党間での合意見通しが強まり、株式市場は大幅反発に転じました。4月に入ると、欧州主要国において新規感染者数が低下気味となったこと、FRB（米連邦準備理事会）が追加の流動性供給策を決定したことなどが好感され上昇基調となりました。

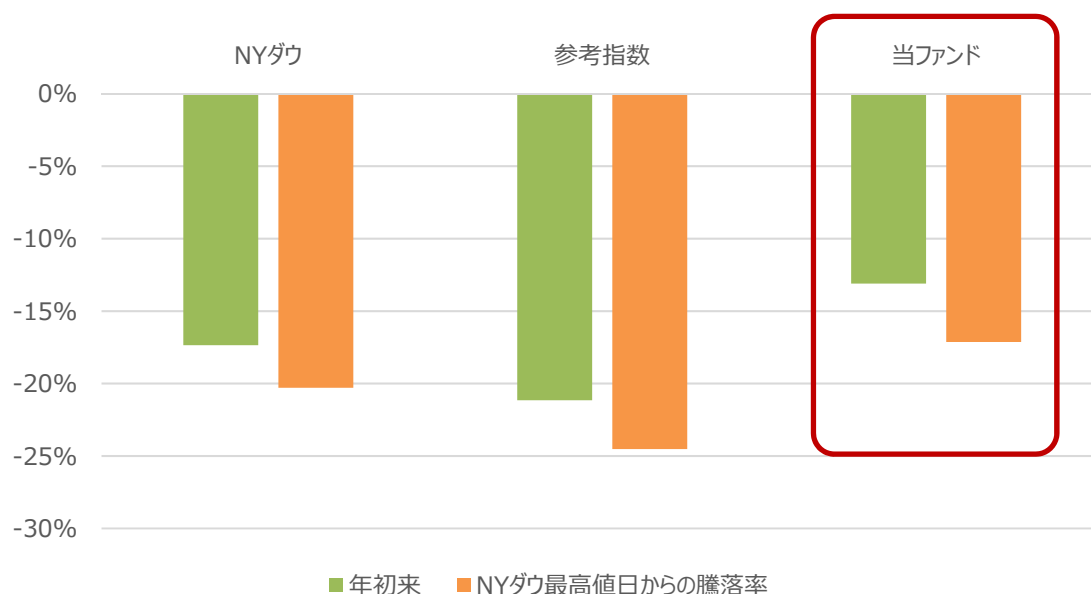
当ファンドの運用状況

市場急落により当ファンドの基準価額も下落。主要指数に対しては優位なパフォーマンスを維持。

当ファンドの年初来パフォーマンス（4月10日まで）は、グローバルでの株式市場急落の影響を受け、▲13.1%の下落となっています。しかし、円換算ベースの米国株式指数との比較では、アクティブ運用における銘柄選択が奏功し下落率は抑制された水準にあります。新型コロナウイルスによる世界景気への影響が懸念されるなか、当ファンドで選好している強い財務体質（低い負債比率）を持った銘柄群が相対的に良好なパフォーマンスとなり、基準価額を下支えました。

■ 主要指数と当ファンドの騰落率（トータルリターン、円換算）

（基準日：2020年4月10日）



※ NYダウ：ダウ・ジョーンズ工業株価平均を使用。

※ 参考指数：ラッセル米国2000成長株指数を使用。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 年初来：株価は2019年12月27日～2020年4月9日、為替は2019年12月30日～2020年4月10日を使用。

※ NYダウ最高値日からの騰落率：株価は2020年2月12日～4月9日、為替は2月13日～4月10日を使用。

※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

（出所）ブルームバーグ、大和アセットマネジメント

当ファンドの運用の強み

グローバルな株式市場が歴史的な急落となるなか、当ファンドの下落率は相対的に抑制されている水準にある理由として、**当ファンドの銘柄選択と運用スタイル**がこの相場環境下で一定の機能を果たしているためと考えてます。

当ファンドの銘柄選択：

ハイクオリティ・ビジネス企業に注目

当ファンドでは、競争優位性があり、高い利益率を長期にわたり維持できる企業（**ハイクオリティ・ビジネス企業**）への厳選投資を行っています。具体的には、①市場支配力、②経営者の質、③利益の質、④キャッシュフロー、⑤財務の健全性に注目して企業の見極めを行っています。

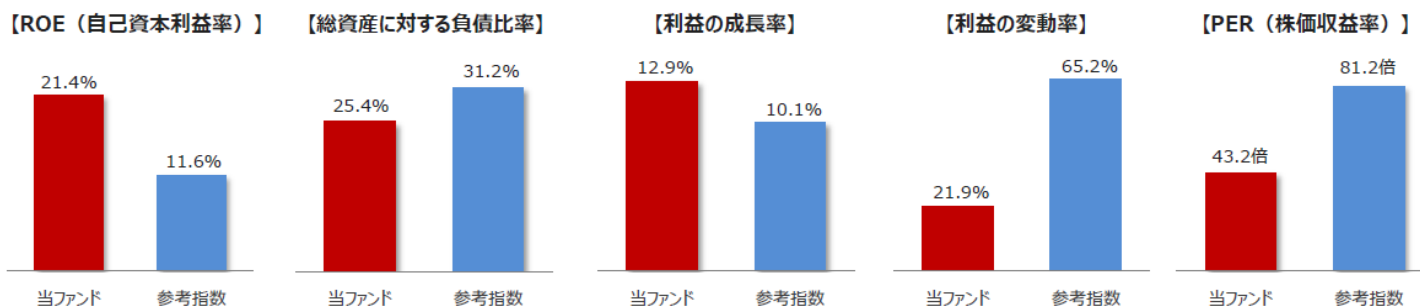
これらの徹底した調査を基に、十分に理解を深めた銘柄に厳選投資を行うことで、想定外の要因によるポートフォリオの価格下落リスク（不確実性）を抑制すると同時に高いパフォーマンスを享受するよう努めています。

ハイクオリティ・ビジネス企業の見極める5つの視点



下記は、2月末時点のポートフォリオ特性値です。参考指数は、米国の代表的な小型成長株指数であるラッセル米国2000成長株指数になります。市場に比べ高いROEと低い負債比率であり、負債に頼らず利益率の高いビジネスを行っている企業に投資していることが見て取れます。当ファンドの銘柄選択において重視しているハイクオリティ・ビジネス企業の見極めが、運用スタイルにも現れていることがご確認いただけたと考えます。

ポートフォリオ特性値（2020年2月末時点）



※ ROEは過去5年間の平均値。

※ 利益の成長率と変動率は過去10年間のEPS（一株当たり利益）のデータを基に算出しています。

※ PERの値は過去12カ月のデータを基に算出しています。

※ 参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

（出所）ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

銘柄紹介

ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント独自の視点で厳選した“ハイクオリティ・ビジネス企業”を2銘柄ご紹介します。

エーオン 業種：資本財・サービス

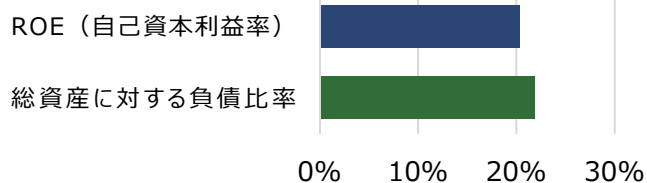
企業概要

空調設備機器メーカー。屋上空調機器、冷凍機、ヒートポンプ機器（室内温度調整）などの冷暖房ユニットを製造・販売。競合相手が標準物のみなのに対して、セミカスタマイズの空調機を製造するプロセスを開発したことで、地域や顧客にあわせた高品質の商品を提供できる点が同社の強み。

株価の推移



財務指標 (2019年12月末時点)



期間別パフォーマンス

基準日: 2020年3月末

	年初来	1年間	3年間
エーオン	-2.2%	4.6%	36.7%
参考指数	-25.9%	-19.2%	-1.9%

オールド・ドミニオン・フレイト・ライン 業種：資本財・サービス

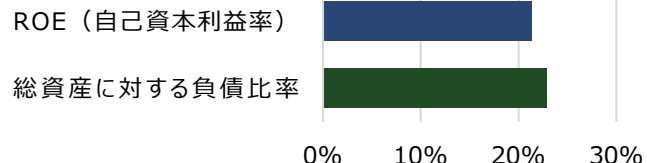
企業概要

業界第2位の小型一般貨物輸送業者。米国全域で消費者製品や繊維製品、資本財などの比較的小型の貨物輸送の事業を展開し、約10%の市場シェアを獲得。綿密なネットワークと運営を強みとして業界でも優れた定刻配達実績と低クレーム率を誇るなど、ハイクオリティなサービス提供。

株価の推移



財務指標 (2019年12月末時点)



期間別パフォーマンス

基準日: 2020年3月末

	年初来	1年間	3年間
オールド・ドミニオン	3.7%	36.4%	130.1%
参考指数	-25.9%	-19.2%	-1.9%

※ 業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。
 ※ 参考指数はラッセル米国2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。
 ※ 期間別パフォーマンスはプライス・リターンを使用。
 ※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント、ブルームバーグ

市場急落後の小型株の回復にも注目

過去、株式市場が大きく調整した後の回復局面で、小型株のパフォーマンスが大型株と比較して優位となる展開がみられました。下記のグラフは、ITバブル、リーマンショック、それぞれの株価の底を100として大型株指数と小型株指数を比較しています。株式市場が沈静化し、景気回復の度合いや個別企業の成長性を織り込む局面で、小型株指数の上昇率が大きくなっていることがうかがえます。

また、今回のコロナショックは、投資家が自社株買い銘柄に対して警戒感を強め、財務健全性の高い銘柄への選好を高める契機になる可能性があると考えます。米国の景気刺激策では自社株買いに対する制限が盛り込まれており、米国市場全体をけん引してきた自社株買いが今後減少する可能性があります。また、大規模な行動規制による経済活動停止による影響は見極めにくく、これらの難局を乗り切るのに十分な強固な財務体質を有する企業、負債に頼らず利益率の高いビジネスを継続できる企業への注目が高まると考えます。

投資家が新型コロナウイルスによる株式市場や個別企業への影響を精査していく過程で、個別銘柄のパフォーマンス格差が拡大する局面に移行することが予想され、このような投資環境下では、当ファンドが目指す「質の高い成長銘柄」に「厳選」して投資を行う運用スタイルが効果を発揮することを期待しています。

市場急落後の回復局面におけるパフォーマンス比較



※ 米国小型株：ラッセル米国2000種指数（米ドルベース、配当込み）

※ 米国大型株：ラッセル米国1000種指数（米ドルベース、配当込み）

（出所）ブルームバーグ

今後の相場見通し

米国においては、感染者数が全米最多のニューヨーク州で必要不可欠ではない事業の停止措置を発表するなど強力な封じ込め策を取っています。しかし、米国の新規感染者数がピークアウトし経済活動が再開されれば、市場は新型コロナウイルス問題後の経済や市場の回復を織り込みに行くと予想され、引き続き、米国の新規感染者数の動向が目先のポイントと考えます。中長期では、各国政府の財政刺激策のかじ取りや世界景気の回復のスピードを注意深く見極めていく必要があるでしょう。業種によっては、新型コロナウイルスから長期にわたり深刻な影響を受ける可能性もあり、個別銘柄に対する選別色がより重要な相場展開を想定しています。

今後の運用方針

当ファンドでは、高品質で差別化された、強固なバランスシートを持つ事業を展開する銘柄にフォーカスしています。投資家が新型コロナウイルスによる株式市場や個別企業への影響を精査していく過程で、この難局を乗り切るのに十分な強固な財務体質を有する企業、自ら創出するキャッシュフローで成長投資を行うことができる企業、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業へ投資を行う当戦略は、株式市場の上昇局面、下落局面いずれの状況においても、優位性を持つものと考えます。また、長期的にみて、相対的に情報の効率性の低い小型株市場が収益獲得の大きな機会を投資家に提供すると考えており、マクロ経済の状況にかかわらず、埋もれている強力な差別化事業を有する銘柄の発掘に引き続き注力してまいります。

ポートフォリオの状況（2月末時点）

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成			通貨別構成		合計100.0%
資産	銘柄数	比率	通貨		比率
外国株式	28	89.7%	米ドル		99.9%
			日本円		0.1%
コール・ローン、その他		10.3%			
合計	28	100.0%			

国・地域別構成		合計89.7%	業種別構成		合計89.7%
国・地域名		比率	業種名		比率
アメリカ		73.2%	情報技術		25.5%
イギリス		10.7%	コミュニケーション・サービス		16.5%
中国		5.8%	金融		14.7%
			資本財・サービス		14.1%
			一般消費財・サービス		8.0%
			ヘルスケア		6.1%
			生活必需品		4.8%

組入上位10銘柄				合計49.8%
銘柄名	業種名	国・地域名	比率	
PAYCOM SOFTWARE INC	情報技術	アメリカ	6.7%	
AUTOHOME INC-ADR	コミュニケーション・サービス	中国	5.8%	
RIGHTMOVE PLC-UNSP ADR	コミュニケーション・サービス	イギリス	5.4%	
AUTO TRADER GROUP-UNSP ADR	コミュニケーション・サービス	イギリス	5.3%	
OLD DOMINION FREIGHT LINE	資本財・サービス	アメリカ	5.2%	
DOCUSIGN INC	情報技術	アメリカ	5.0%	
AAON INC	資本財・サービス	アメリカ	4.5%	
FOX FACTORY HOLDING CORP	一般消費財・サービス	アメリカ	4.3%	
INTERACTIVE BROKERS GRO-CL A	金融	アメリカ	3.9%	
ASPEN TECHNOLOGY INC	情報技術	アメリカ	3.7%	

※ 比率は、純資産総額に対するものです。

※ 業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※ 外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

※ 四捨五入の関係で比率の合計が一致しない場合があります。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

米国の小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の小型株式等の中から競争優位性があり、高い利益率を長期にわたり維持できる企業を厳選し投資します。
 (注1)「米国の小型株式」とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式のうち、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが、時価総額をもとに小型と判断した銘柄を指します。
 ※「株式」にはDR(預託証券)、「上場」には上場予定、「店頭登録」には店頭登録予定をそれぞれ含みます。
 (注2)一部、小型株式に該当しない銘柄に投資します。
 ◆ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。
 ①定量的スクリーニングや業界分析等を通じて、調査対象銘柄を選定します。
 ②調査対象銘柄に対して徹底的なファンダメンタルズ分析を行ない、企業の持つ競争優位性や経営陣の評価、資本効率等を考慮して投資候補銘柄を選定します。
 ③業種分散、銘柄分散を考慮して、ポートフォリオを構築します。
2. 米国の小型株式等の運用は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが行ないます。
 ◆外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 マザーファンドは、「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」です。
 ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

I ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限> 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.958% (税抜 1.78%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

米国小型株サステナブルグロース・ファンド（愛称：ダイヤの原石） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。